

あなたが建てようとする家は

いい家ですか？

ほんとうに、いい家とは…



「いい家」の木の素材

メーカーの新築工事現場で使われていた床である。有名な大学の教授宅のものだが、床材（フローリング）は何とボール紙で出来ている。表面は厚さ0.2mm程度の化粧、突き板が張られているものの、その下はボール紙さらにその下が合板（ベニア）になっている。一流メーカー、その現場で使われている床材がなんとこれである。

立派な肩書きを持った建築主が一流メーカーに発注した（いい家）の実態である。

この家の建築主も一流メーカーに依頼したと自慢していた。これには正直、驚いた。

表面に気に似たプリントシートを張った材、MDF、パーティクルボードといった木くずを薬や接着剤で固めたもの、これが今の建築の大きな流れである。

このような素材使用の家で（いい家）と言えるだろうか？

合板は合板でしかない！！

そこには石油製品の接着剤が大量に使われている。

ホルムアルデヒドの揮発量が基準値内に収まったとしても代替の薬品がどれだけ人体に安全なのかはまだ、明確に保障されない。

人の健康に害を及ぼす不安のある要素でつくられている家で毎日安心して過ごせる？とは私には思えない。